

子どもたちに核兵器も戦争もない未来を

県内3会場で
「ピースウォーク」を実施

“サイレント
ウォーク”で
訴える



連合鳥取は、人類の恒久平和実現に向けて、毎年、平和行進（ピースウォーク）に取り組んでいます。本年は、デモ行進を「サイレントウォーク」にするなど、各地域協議会で新型コロナウイルス感染症防止のための「新しい生活様式」について工夫を凝らしながら県内3地域で実施しました。

2020ピースウォーク

【中央・西部・参加者175人】

西部地域協議会は、今回も「将來を担う子どもたちと共に考え、行動しよう」をテーマに開催し、たくさんのお親子での参加がありました。当日は、あいにくの小雨でしたが、米子市文化ホールから米子駅通りを横断幕を先頭に、親子でパレードを行いました。新型コロナウイルス感染症防止のため、「サイレントウォーク」となりましたが、たくさんのお親子のプラカードを掲げ、メインスローガンでもある「子どもたちに核兵器も戦争もない未来をつくるためにアピールしました」。

パレード終了後、米子市文化ホールで集会を開催し、主催者を代表して本川博孝会長が「75年前の沖繩戦と広島・長崎の原爆投下から今も苦しめられている人々がいることを忘れてはならない」とあいさつを行いました。

その後、子どもたち60人がステージに上がり、「子ども平和アピール」を元気よく宣言しました。続いて、平和学習の一環として、原爆症で亡くなった佐々木禎子さんをモデルにした「千羽づる」を上映しました。広島の平和公園の一角には禎子さんをモデルにした「原爆の子の像」が建設されています。

最後に、親子で恒久平和について考え、今の社会に目を向けることを全体で確認し、閉会となりました。



「マスクドライブ」へのご協力ありがとうございました
3会場で366枚のマスクを寄贈いただきました。
8月31日まで、各地域協議会で受け付けていますので、ご協力をお願いします。

2020年7月豪雨で被災されたみなさまに
心よりお見舞い申し上げます

東部
地協

■フォトニュース ピースウォーク■

中部
地協

7月22日(水)／県民ふれあい会館 (参加人数) 117人

※朗読会「戦場から届いた遺書」(文春文庫刊)
朗読／八百谷和子さん 他 原作／辺見じゅん
企画協力／文藝春秋



組合OGもブランクカードを準備して参加

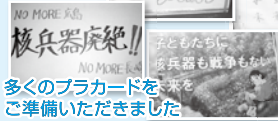


参加者全員で黙祷



八百谷和子さんの朗読

※会場に配布した「平和検定」にチャレンジしてください！
8/11 締切



多くのブランクカードをご準備いただきました



アピール(案)提案



橋本副議長も朗読に参加



マスクドライブ設置

7月22日(水)／県立倉吉体育文化会館

※学習会「戦後75周年をむかえて」 (参加人数) 60人
講師／鳥取市歴史博物館 横山展宏さん



開会時に全員で黙祷



アピール案提案



講師／横山さん



だれもが個性や能力を発揮できるジェンダー平等の実現とすべての労働者の就業環境整備と待遇改善を求めて —鳥取県と鳥取労働局へ要請行動を実施—

連合鳥取は、毎年6月の連合「男女平等月間」にあわせ、鳥取労働局長及び鳥取県知事に「雇用における男女平等に関する要請」を行っていますが、本年はコロナ禍における調整の結果、7月9日(木)に実施しました。

【鳥取労働局】 本川博孝会長が石田聡鳥取労働局長に「要請書」を手交しました。要請行動には、澤田陽子副会長(男女平等局長)をはじめ女性執行委員3人が出席し、「仕事と家庭の両立」「介護離職」「早期退職」「人員不足」など現場の実態を報告して意見交換しました。

【鳥取県】 本川博孝会長が平井伸治鳥取県知事に「要請書」を手交し、出席した女性執行委員2人から「職場実態の報告」と意見交換を実施しました。

「鳥取県男女共同参画計画」の改定時期でもあり、「子育て王国」としての社会的役割、女性就業率全国第5位の実態、人員不足とハラスメントの関係性やハラスメントに対する認識不足等について、次期計画に活かされるよう期待した要請としました。

鳥取県への要請(要旨)

1. 女性に対する暴力への対策や、ひとり親など様々な困難な状況に置かれている女性等の困難解消に向けた環境整備を重点的に推進すること。
2. 女性活躍課などの担当部署の一層の体制強化と、関係機関への財政支援を通じた機能の強化・充実や地域の多様な主体との積極的な連携を推進すること。
3. 地方公共団体が設置する防災・復興会議や災害時の避難所の運営に関する会議など、あらゆる意思決定の場への女性の参加を拡大すること。
4. 「クローバーとっとり」と連携し、性犯罪・性暴力に対する予防教育に取り組むこと。また売春防止法の改正により、相談対応職員を正規職員として任用し、相談体制の質の向上に努めること。
5. 教職員、警察官等の相談対応者へ、セクハラやDV、ストーカー行為、児童虐待、SOGIに関する研修の実施や最新の情報提供を行うこと。
6. あらゆるハラスメントへの一元的かつ積極的な対応に努めること。また、「SOGIに関する偏見に基づく言動」についても積極的に対応を行い、取り組みを促すこと。
7. 自治体の公共調達における「えるぼし」等の取得企業に対する加点評価を積極的に実施すること。
8. 仕事と介護の両立に向けて、両立支援制度と介護保険サービス等の情報提供と、相談対応の強化をはかること。
9. 妊娠・出産・育児期に離職せず安心して働き続けられる環境整備に向けて、両立支援制度等の情報提供や相談対応の強化をはかること。また、保育所や放課後児童クラブ等の待機児童解消と質の向上をはかること。



左から／安養寺執行委員、澤田副会長、本川会長、石田労働局長、周藤雇用環境・均等室長、川口執行委員、古川執行委員



左から／長屋執行委員、古川執行委員、澤田副会長、平井県知事、本川会長



見事!初当選!!〈境港市長選挙結果〉

7月12日(日)、境港市長選挙が実施され、連合鳥取が推薦した「伊達 憲太郎(だて けんたろう)」さんは当選されました。

みなさまのご支援に心より感謝申し上げます。

当選 伊達 憲太郎(自治労)

10,666票

(敬称略)

当選報告を受ける本川会長(左)と伊達さん(右)



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合鳥取

第28回定期大会 ※日程決定

- 日 時 11月10日(火)
開会 / 13時00分
閉会 / 16時00分(予定)
- 場 所 ハワイアロハホール

ワークルール検定2020秋・初級

- 日 時 11月23日(月・祝)
受 付 / 10時15分～
試験開始 / 11時00分
終 了 / 11時45分
- 場 所 白兔会館(鳥取市)

※「れんごう鳥取」No.9で詳細を案内します。

「SDGs」の基本から学ぶ

—青年委員会「学習会」開催—

青年委員会は、7/18(土)倉吉未来中心において、「SDGsについて学ぼう～広げよう未来のために～」と題した学習会を参加者25人が集まり開催しました。

「SDGs」とは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために国連の加盟国で採択された17の取り組み目標のことです。

講師に(株)百年人・代表取締役の岸本行央さんを迎え、ユーモア溢れる座学、カードを使用した体験ゲームで「SDGs」についての学習を行いました。

体験ゲームでは2人1組になり、他の参加者と協力し、コミュニケーションを楽しみながら、真面目に学ぶだけでなく楽しい雰囲気での学習会となりました。

最後のまとめの時間まで熱心にご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の影響で青年委員会でも久しぶりの活動となりましたが、コロナ禍の影響で人と人の間に距離感が生じている今こそ、お互いを思いやる心を持ち、活動する組合活動が大切だと思います。

まだまだコロナ禍の影響が続いていますが、心の通じ合った組合活動が「SDGs」の目標達成、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つ一助になると思います。

引き続き連合鳥取青年委員会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

(寄稿 青年委員会副委員長 小谷透広さん)



講師 / 岸本さん

なぜ「労働組合」って必要なの?

—西部地協 青女フォーラム「学習会」に27人参加—

西部地協青女フォーラムは、7月10日(金)、ふれあいの里(米子市)で27人の参加のもと、労働組合基本セミナー「労働組合の必要性」をテーマに「学習会」を開催しました。

門西慶和青女フォーラム委員長のあいさつで始まり、次に西部地域協議会の佐貫馨事務局局長から講義を受けました。

講義内容は、まず参加者への質問コーナーから入り、①組合加入の動機は? ②加入の際「説明会」はあった? ③オープンショップ制とユニオンショップ制の違いって? ④労働組合は必要だと思う? 等の質問に参加者から素直な意見が出されました。

次に、本題に入り、内容はわかりやすいものから難しいものまでありましたが、受講生は熱心に講義を聴き、特に「労働組合がなぜ政治活動をするのか」の時は、メモを取る受講生が多く見られました。

「若者の組合離れ」を防ぐには、労働組合の基本的な語句を含めて「労働組合の必要性」について学ぶ機会をつくっていくことが必要だと強く感じました。

その後、グループ討議を行う予定でしたが、新型コロナウイルス拡大防止のために中止としました。



〈講義内容〉

- ・労働者の労働組合組織率
- ・労働者と使用者との関係
- ・労働組合の必要性
- ・就業規則と労働協約(協定)
- ・36(サブロク)協定
- ・労働組合がなぜ政治活動をするのか
- ・青年・女性組合員の役割について etc.

今回の「産別リレー」コーナーはお休みします。
次回は…▶全労金をご紹介します。



湯原 俊二

— りょくひの想い —

衆議院選挙は、暮らしを左右する政治を選ぶ機会



〈境港市長選挙、連日、終日の電話作戦に参加〉

選挙時によく「苦労している湯原を勝たせてください」とか、浪花節みたいという方がおられます。気持ちは有難く思いますが、湯原個人のためにと誤解をされると無関心層や若い人はひいていきます。彼らにとって見れば湯原や相手候補の当落は関係ないからです。

しかし実際の衆議院選挙は、国民自身の暮らしや社会を大きく左右する政治を選ぶ機会です。今の安倍自民党政権は、国民に平気でうそをつき、格差を拡大させ地方を切り捨て、国民の暮らしも悪くしました。選挙時の有権者の投票によってその後の国民の暮らしや社会は、大きく変わります。

つまり湯原個人のためではなく、国民自身のための選挙です。

安倍政治を変えるためには、衆議院選挙で現職の野党議員がいる選挙区だけではなく、自民党が強い地方の選挙区をひっくり返さなければ政権交代になりません。そのためには、野党はバラバラではなく、より大きな受け皿にならなければなりません。すべては国民のためです。

湯原さんのホームページもご覧ください

QRコードからもつながります▶



“ザ・議員”

興治 英夫 鳥取県議会議員

コロナ対策に全力で取り組む

コロナ禍で、困難に直面する人々や事業者の声を聞き、3度にわたる知事要望や議会質問で取り上げました。その中で実現した施策を、いくつかご紹介します。

1. 中小企業の資金繰りへの特別金融支援の拡充
無利子期間の延長(3年→5年)
無保証料期間の延長(5年→10年)
2. 中部地震被災企業への金融支援
地震被災時の融資をコロナ対策融資に借換えを可能とし、無利子・無保証期間の延長
無利子対象事業者の拡充(中部地震被災企業は、売上減少要件15%以上→5%以上に)
3. 売り上げ減少が50%に満たず持続化給付金の対象にならない事業者に、10万円(複数店舗経営は20万円)の再スタート応援金の給付
4. 感染予防に取り組む事業者に、20万円(複数店舗経営は40万円)の感染拡大予防補助金など



2020〈令和2〉年6月県議会で知事に質問

中田 利幸 米子市議会議員

新型コロナウイルス対応も、「自粛」から「自衛」へ移行していますが、地元経済への影響は続いており、現在、様々な方にヒヤリングを重ね、行政要望につなげているところです。

雇用においては、非正規のパートやアルバイトへの影響は大きく、正規社員も集客率の低下で様々な問題があり、ここでは労働組合運動の有無による違いも見えてとれます。

公共交通など公共インフラ施策へのこれまでの取り組みにもブレーキをかける事態ですが、より安心で安定的な生活基盤の構築に向けて取り組んでまいります。

また、かつてない財政支出が続く中、弱者へ有効な施策が届くよう努めてまいりたいと思います。



米子市監査委員辞令交付の様子(2020.7.1)
伊木市長(右)より辞令書を受け取る中田議員(左)

まだ新型コロナウイルスの話が絶えることのない日々のニュースの中、「女性の管理職比率目標先送り」の見出しが気になった。安倍政権の看板政策の一つ「女性活躍」の目玉として掲げていた2020年に女性管理職30%。現状は目標にほど遠く、達成は不可能と判断したようだ▼5年前にこの数値目標を聞いた時に、「世の中の実体と合わなくて混乱が生じるのでは？」と思ったが、特に混乱もなくあっさり目標修正：▼政府の政策としての女性活躍の促進はもちろん必要だ。そしてそれ以上に必要なのは、個人の意識改革だ。米国の黒人差別問題を他人事のように考えている日本人は少なくないだろうが、私は日本の男尊女卑的な風習や意識も根深いものがあると感じていた▼新型コロナウイルスにより日常が変わり、これまでの価値観の変更を否定なく迫られている今、女性も男性も自分の仕事のやり方、家事のやり方、生き方を見つめる機会を与えられていくのかもしれない。



トピック



再生紙を使用しています